

問1 3世紀の中国の歴史書『魏志』倭人伝において、女王卑弥呼が統治していたとされる、当時の日本列島の呼称として適切なものはどれですか。

(2017年 長崎県公立入試 類似)

1. 邪馬台国                      2. 日本                      3. 高天原                      4. 倭国

問2 弥生時代の遺跡から発掘された人骨の中には、石の鏃（やじり）が刺さっていたり、鋭利な刃物によるものと思われる殺傷跡が残っていたりするものが多数見つかっています。このような人骨の発見から、当時の社会状況について推測されることとして最も適切なものはどれですか。

(2022年 沖縄県公立入試 類似)

1. 狩猟や採集を中心とする生活の中で、獲物を奪い合うための小規模な小競り合いが増えたこと                      2. 青銅器である銅鐸や銅鏡を、死者の権威を示すための副葬品として埋葬し始めたこと                      3. 水田稲作の普及にともない、土地や水をめぐる集落間の争い（戦い）が激しくなったこと                      4. 古墳と呼ばれる巨大な墓を造るために、強制的な労働によって多くの犠牲者が出たこと

問3 弥生時代に大陸から稲作の技術とともに伝わった金属器について、武器や工具として実用的に使われた鉄器に対し、主に豊作を祈る祭りなどの祭祀（儀式）に用いられたものを総称して何といいますか。 (2026年 滋賀県公立入試 類似)

1. 青銅器                      2. 鉄器                      3. 埴輪                      4. 磨製石器

問4 3世紀の中国（魏）の歴史書には、当時の日本の様子が記述されています。邪馬台国の女王である卑弥呼が、魏の皇帝から授かった称号と品物の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2023年 岩手県公立入試 類似)

1. 征夷大將軍の称号と、刀や鎧                      2. 倭王武の称号と、鉄剣                      3. 親魏倭王の称号と、金印や銅鏡                      4. 漢委奴国王の称号と、金印

問5 鳥取県の青谷上寺地遺跡などの出土品をまとめた資料では、木製品や骨角器とともに、石器、金属器、そしてこの時代の特徴的な土器が並んで示されています。これらの道具が併用されていた弥生時代の土器に見られる、縄文土器と比較した際の外見上の特徴として、最も適切なものはどれか。 (2016年 鳥取県公立入試 類似)

1. 表面に細目の文様がつけられ、全体的に薄手で実用的である                      2. 仏教の儀式に用いるために、表面に金色の装飾や仏像が描かれている                      3. 表面に縄目のような力強い文様がつけられ、全体的に厚手である                      4. 青灰色をしており、非常に硬く焼かれた朝鮮半島由来の技術で作られている

問6 弥生時代に使用された土器の一般的な特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれか。 (2026年 北海道公立入試 類似)

1. 赤褐色で文様やかざりが少なく、薄くて硬い性質を持っている。                      2. 呪術的な目的から、表面に激しい隆起や複雑な装飾が施されている。                      3. ろくろを使用せずに低温で焼かれたため、形が歪んでおり非常に厚くて脆い。                      4. 表面に縄目の文様が全体に施されており、厚手で黒褐色をしている。

問7 弥生時代の社会の変化について述べた文として、当時の集落のあり方や道具の特徴を正しく説明しているものはどれですか。 (2024年 沖縄県公立入試 類似)

1. 仏教の伝来とともに巨大な前方後円墳が造られ、集落の形が大きく変化した。                      2. 縄目の文様がある厚手で黒褐色の土器を使用し、主に狩りや採集を行って生活した。                      3. 竪穴住居が並ぶ大規模な集落が形成されたが、外敵を防ぐための堀などは作られなかった。                      4. 集落の周りに堀や柵を巡らせ、薄くて硬い土器や鉄器・青銅器などの金属器を使用した。

問8 3世紀の倭国の女王である卑弥呼が、中国の王朝である魏に使いを送った目的として、当時の政治的背景から説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2020年 埼玉県公立入試 類似)

1. 大陸の進んだ文化や制度を直接学び、仏教を日本に広めるため                      2. 魏の皇帝から倭国の王としての正当性を認められ、国内の統治を安定させるため                      3. 元との貿易を円滑に進めるために、港の整備や通貨の流通を依頼するため                      4. 隋の皇帝に対して、対等な外交関係を築くことを求めるため

問9 江戸時代に志賀島で発見された「漢委奴国王」と刻まれた金印や、3世紀の歴史書に記された卑弥呼が「親魏倭王」の称号を授かったという記述は、当時の日本と中国のどのような関係を示していますか。 (2021年 茨城県公立入試 類似)

1. 日本が中国の王朝に対して軍事的な圧力をかけ、金印や称号を無理やり奪い取った関係                      2. 中国の皇帝が日本の優れた統治体制に学び、日本の王に中国の政治顧問を依頼した関係                      3. 中国の皇帝に臣下として礼を尽くすことで、自らの支配権の正統性を認めてもらう関係                      4. 日本と中国が対等な立場での自由貿易を約束し、称号の交換を経済的な儀礼とした関係

問10 1世紀頃の東アジアにおいて、中国の皇帝が周辺国の支配者に対して「みつぎ物」の見返りとして「称号」や「印」などを与える国際秩序がありました。倭の王が中国へ使いを送った歴史的背景や目的として最も適切な説明はどれですか。 (2019年 長野県公立入試 類似)

1. 朝鮮半島北部の小国として、中国の強力な武力による直接支配から逃れるための許可を求めた。                      2. 中国の皇帝に臣下として認められることで、自らの支配者としての地位を国内や周辺に示そうとした。                      3. 中国と対等な立場で外交関係を築き、軍事的な同盟を結ぶことで領土を拡大しようとした。                      4. 仏教などの新しい宗教を中国から正式に導入し、国を治めるための思想として活用しようとした。

問11 弥生時代に環濠集落が形成されるようになった直接的な背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 沖縄県公立入試 類似)

1. 大陸から仏教が伝わり、寺院を中心とした新しい町づくりが推奨されたため。                      2. 気候の寒冷化により、家畜を野生動物の襲来から守るための囲いが必要になったため。                      3. 稲作が始まり、土地や水の利権、蓄えられた食料をめぐる集落同士の争いが激しくなったため。                      4. 大規模な土木技術が導入され、洪水などの自然災害から住居を守ることが目的となったため。

問12 弥生時代の3世紀、邪馬台国の卑弥呼が中国の「魏」に対して使いを送った目的と、その結果として当時の国際情勢から読み取れる背景として最も適切なものはどれか。 (2017年 東京都公立入試 類似)

1. 隋の皇帝に対して対等な立場での外交を求め、小野妹子を派遣して「日出づる処の天子」という国書を届けさせた。                      2. 全国的な徴税制度である大宝律令を確立させるために、中国から法制度の専門家を招いて政治改革を推進した。                      3. 日宋貿易を円滑に進めるために、大輪泊のような港湾施設を整備して中国との経済的な結びつきを重視した。                      4. 中国の皇帝から倭の王としての正当性を認められることで、国内の諸勢力に対する支配力を強化しようとした。

問13 1世紀の日本（倭）において、奴国の王が中国の後漢へ使いを送り、皇帝から「漢委奴国王」と刻まれた金印を授かった政治的な目的として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 佐賀県公立入試 類似)

1. 中国の律令制度を日本に導入し、天皇を中心とした中央集権国家を築くため                      2. 遣隋使や遣唐使を派遣する前の準備として、航路の安全を中国側に確認するため                      3. 中国の皇帝から自国の支配者としての地位を認めてもらい、周囲の小国に対して権威を高めるため                      4. 仏教を日本に伝来させるための正式な許可を、中国の皇帝から得るため